

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 つくば環境フォーラム

1 事業の成果

平成 28 年度も、筑波山ならびに里山の自然環境保全を進めるため、連携促進事業、情報収集・発信事業、自然環境の調査・研究・保全事業、環境教育事業、環境に配慮したまちづくりへの提言を幅広く展開した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
環境に関わる活動の連携の促進	筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会の一員として連携事業に参画し、筑波山麓地域情報紙「すそみろく」35、36 号の発行に編集委員として参加。筑波山麓秋祭りでは、つくば道沿いで交流会場として「すそみ茶屋」を地域住民と共に出店した。	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	つくば市 臼井	のべ 35 人日	筑波山麓の住民ならびに観光客など 2000 人	14
環境に関わる情報の収集・発信	会報「TEFTEF」38、39 号を発行(2000 部)、会員のほか市内小中学校・霞ヶ浦環境科学センター・茨城県博物館等で配布した。また、年2回の TEF ニュースで活動を報告、ホームページ等で活動に関する情報発信を行った。	4 月、8 月、10 月、1 月他 随時	つくば市	のべ 50 人日	市内小中学校等 約 1000 人 つくば市民 ほか来訪者 約 600 人	55
筑波山および霞ヶ浦周辺地域における自然環境の調査・研究・保全活動	生きものと共存する米づくり体験、田んぼの生きもの観察会、調査等を行い田んぼオーナー、ボランティア、企業等の参加と協力を得て谷津田 8ha を耕作し保全した。研究学園都市隣接部では「オオムラサキの棲む里山づくり」として「森づくりボランティア」を 9 回実施。葛城大規模緑地(県有地)の利活用体制構築事業を行った。筑波山で東京農業大学の依頼を受けブナの結実状況調査を行い、つくば市文化財課の依頼で巨樹調査を行った。	通年(年間 171 回の活動 と通年の管理 作業) 調査活動 5 月～10 月	つくば市 神郡・臼井、 下平塚・葛 城地区 筑波山 つくば市 桜・豊里 地区	のべ 800 人日	参加者のべ 2148 人 つくば市 ならびに 周辺市町 村、東京 都・埼玉 ・千葉か らの参加 もあつた	17,698
学校教育・生涯学習における環境教育の推進 ☆はつくば市委託事業	筑波ふれあいの里で筑波山麓自然学校(☆)の企画・運営を行い、年間 11 回の講座を開講。筑波山では、筑波山ファンクラブの観察会を 10 回行った。筑波山自然インストラクターとともに、学校の自然ガイドや筑波山自然展を実施、また、一般観光客に筑波山の自然を紹介する筑波山ビジターセンター試行事業(☆)に取り組んだ。筑波山自然環境教育事業(☆)として 4 回の自然体験活動を行い、豊里ゆかりの森では、幼児親子の自然体験教室「しぜんっこくらぶ in ゆかりの森」を 20 回(4 月 8 月を除く毎月 2 回)、ボランティア研修会を 11 回行った。高崎自然の森では親子・子どもの自然体験教室「つくば里山たのしみ隊」(☆)を 5 回実施した。	通年(年間行 事 96 日) 学校ガイド 5/26, 9/15, 9 /27, 10/24, 筑波山自然 展 10/4 ～ 10/10 計 7 日 間 ビジターセ ンター 11/3 ～13 計 11 日 間	つくば市 臼井(筑波 ふれあいの 里)、筑波 山、豊里 ゆかりの 森 高崎自然 の森	のべ 750 人日	参加者のべ 7205 人 つくば市 周辺市町 村、ビジ ターセン ターには 千葉・埼 玉・栃木 ・群馬・ 神奈川・ 東京ほか 海外の人 も来訪	7,439
環境に配慮したまちづくりの研究・提言	つくば市文化財保全審議会において地域資源の保全と活用について提言した。筑波山麓の活性化をめざす神郡塾において講演、筑波山地域ジオパークパネル討論会にパネリストで出席。	8/2, 10/15, 10/22, 12/13	茨城県 つくば市	のべ 4 人日	茨城県民 つくば市民	0

(支出額合計 25,206 千円)